

～5月集会の言葉～

新しい学年がスタートして1か月が過ぎようとしています。どうですか？新しい環境にはもう慣れましたか？

先日行われた生徒総会で「板津スタイル」を守っていくために、まずは周りを見て行動すること。それでもできていない人がいれば声掛けしていこう。ということでしたが…実は一つ心配なことがあるのですが…

① 周りを見て ②声掛けする あと一つ！必要なことがあると思うのですが…少し考えてみてください。

もし、自分が声掛けをして「はっうるさい、命令するな！うざっ」みたいな言葉が返ってきたらどうですか？怖いし、心折れますよね。反対に「アッそうやった。ありがとー」みたいな反応だったら、ほっと一安心って思えますからね。つまり、言われた人の態度が大事ということです。

生徒総会で「安心できる学校」というワードがたくさん出ていましたが、実現させるためには、反対に自分にとって「安心できない」って何なのかを真剣に考えて、それを絶対にしなければ、みんなが願う「安心できる学校」になれるんじゃないかと私は思っています。

4月の始めに、まずみんなに頑張ってもらいたいことは「つながること」だと伝えましたが、それも「安心」という土台があってできることになりますね。どうですか？できましたか？

新しい友達ができただけ？何がきっかけで仲良くなれたか、あるいはつながりを広げるために自分が挑戦してみたことなど、難しいな…って感じていることでもいいです。少し隣の人と話してみてください。お隣がいない場合は3人でお願いします。お話する人見つかりましたか。このあと代表で各学年一人ずつ、みんなに伝えてもらいます。

5月も引き続き「つながる」が心のテーマです。今、聞いて「それいいな」と思ったことや新たな試みに挑戦するのもいいと思います。嫌なことを仕返すのではなく、自分がされて嬉しかったことを誰かにお返しして、ぜひ、つながり、仲間の輪が広がっていくように「自ら」「共に」「挑む」です。

クラスのルール決めのときに「やらなければならないこと」「やったほうがよいこと」「やってはいけないこと」という3つの視点で、自分たちがなりたいクラスになるためのルールについて考えたと思います。

同じように「つながる」ためにというテーマで、この3つのことを考えたとしたら…どうなりますか？私が思う「つながる」ために「やらなければいけないこと」は、話しかけられたらちゃんと目を見て反応を返すこと。そこに笑顔があればサイコー！「やったほうがよいこと」は積極的に自分から話しかけてみる。「やってはいけないこと」は、自分の好き嫌いでつながる人を選び好みすること。だと思います。

その子のこと何も知らないのに、人のうわさで決めつけて「あの子は嫌」とか、知っている子がいないから「あのグループは嫌」みたいに、やりたい放題、好き放題している姿ほど、格好悪い姿はありません。残念ながら1年生にまだそのような幼さが残る姿がみられます。早く、中学生としての「なりたい自分」をみつけられるといいなと思います。でも、いいところもあります。素直なところ。たとえ失敗しても素直さがある人は大丈夫！素直に自分を振り返ることができれば成長につながります。また、みんなも応援してくれます。反対に素直じゃなかったり、人を見下して馬鹿にしたりする意地悪で損をする性格は早めに卒業した方がいいです。

5月は遠足・職場体験・修学旅行と、多くの人が楽しみにしている行事が控えています。でも、いろいろな考え方や感じ方があるので、みんな自分と同じって思ってしまうと、そこに落とし穴があります。

もしかしたら、いつもと違う活動で不安に感じている人もいるかもしれません。ぜひ、みんなで少しずつやさしさをわけあって、違う＝排除ではなく、何でかなと一度？を思い浮かべて、相手のことを受け止め、つながり、全員が楽しめる時間にしてほしいと願っています。そこにはみんなの力が必要です。みんなが笑顔でいられることが、私たちの一番の願いです。それは、みんなの願いでもあると信じています。

以上、5月集会の言葉とします。